

イオンカードゲーム

■ 対象年齢／小学校高学年～成人(化学的知識のない方でも遊べます)
■ 人数／3人～8人くらい(授業でベターなのは6人前後のグループ)



プラマイゼロで化合物を完成させよう!

販売元／株式会社ナリカ 企画・製作／ZIKI研(金田・石塚)

● カードの種類…図で示したのは、主にゲームで使用するカードです。他に原子やイオンの事などを解説したカードが6枚入っています。

カード枚数は、全部で98枚あります。()内の数字は予備(白)札の枚数です。紛失したりカードの種類を増やしたいときにご利用ください。
本製品は陽イオン・陰イオンを小学生などにも分かりやすく、プラスイオン・マイナスイオンという言葉にしています。

プラスイオンカード…26(7)枚 1価×2種、2価×4種、3価×2種	マイナスイオンカード…26(7)枚 1価×4種、2価×4種、3価×1種	化合物カード…20(4)枚 日常生活でおなじみの化合物です	ゴールド(金)カード…2枚 ジョーカー or オールマイティー
---	--	--------------------------------------	--

● 神経衰弱風ビギナー編…裏返しのカードを2枚めくり、化合物を作るゲームです。化合物カード以外のカードを使います。

ウォーミングアップのゲームです。化学の記号に抵抗感を無くしましょう。

- 使用するカード全てを裏返し、バラバラに置きます。
- じゃんけんで順番を決め、ゲームスタート。
- 2枚のカードをめくり、2枚のできる化合物を作ります。
イオンの価数がプラスマイナスゼロになったら化合物完成！カードをゲットできます。
ゲットしたカードは、プレイヤーの手元にオープンしておきます。
- 化合物ができなかったらカードは、元通りに裏返し、次のプレイヤーにかわります。
- ゴールドカードを引いたら、そのプレイヤーがゲットしたカードは全部没収。(没収カードは場の外に置く)
- 2枚目のゴールドカードが出たら、同様にそのプレイヤーもゲットした全てのカードを没収され、ゲーム終了！
- ゲットしたカードの枚数が多い順に、順位が決まります。
(同数の場合はジャンケンで順位を決める)

イオンの価数

ゲット！

プラマイゼロ
H⁺やOH⁻のプラスマイナスの記号の前に数字がありませんが、これは価数「1」が省略されています。

残念

マイナス同士

プラス同士

数字(価数)が違う

没収

1回目は…ゲットしたカード没収

2回目は…没収&ゲーム終了

● 神経衰弱風ステップアップ編…慣れてきたなら、今度は化合物カードも入れてプレイしよう！

カードの枚数にかかわらず、イオンの価数が**プラスマイナスゼロ**になったら化合物の完成です。

- 化合物カードを場の中央に表向きに並べ、その周囲に残りのプラス・マイナス・ゴールドカードを裏返しに置きます。
- じゃんけんで順番を決め、ゲーム開始。2枚～最大5枚で化合物を作っていきます。
- めくって出来た化合物が、化合物カードにあれば同時にゲットし、ゲットしたカードは全部手元にオープンします。
- めくっていった化合物が出来ないと分かった時点で次のプレイヤーに交代します。

1枚目 → 2枚目

化合物ができた！
GET!
化合物カードも！

1枚目 → 2枚目 → IF 3枚目

1種類なのでもう1枚挑戦

プラマイゼロでカードゲット！
2種類になったのでチェンジ！

2枚の例

プラスマイナス=0

プラス2マイナス2=0

プラス3マイナス3=0

3枚の例

プラス2+マイナス1×2=0

プラス1×2+マイナス2=0

4枚の例

プラス3+マイナス1×3=0

プラス1×3+マイナス3=0

5枚の例

プラス3×2+マイナス2×3=0

プラス2×3+マイナス3×2=0

- ゴールド(金)カードのルールはビギナー編と同じ！1枚目は引いたプレイヤーのカード没収、2枚目を引いたプレイヤーも没収&ゲーム終了。

化合物カード20枚をならべるのは一苦勞。広いテーブルなどを使い工夫して遊んでみましょう。

-

例：水素イオンとリン酸イオンで…「リン酸」(リン酸水素)

「※」の化合物を作るには、予備札を使用してください。